



ひろひだより

NO.13, 2013. 3. 15

東日本大震災・原発事故から二年が経ち 直後より深刻さが見えてきた環境汚染
そして被災地の方々の生活のしにくさ・心の問題……何十年必要なのかわかりません
が考えられるべきこと、変えられるべきこととやっていかなくてはなりません。子ども達の
抱えている状況の中で 2300人以上の遊歩者としかかへるべき育つことを保障しなくては
ならず子ども達の体を守っていくことをとまどい 模索しながら歩んできました。

そんな中でも子ども達はこの一年も必要十分だけしか育って来たら。子ども達一人ひとりの
中にあるほろいさげと弱さ・伸びていこうと弱さ・知れないと思ふか・考えようとする力・関わり
方と弱さ……がゆくり首を振り 中々に育ちました。知恵大人が抱える
ことは 割り添うこと・抱きしめること・そと背中を押しあててあげる・小まめに叱りつける
ことを示してあげる……など一人ひとりの心と体を支えながら生きていく事だと思いました。

ほろいと思ふ 割り添うのか。ぶつかる人は 抱きかかるとから解放してほしい
けれどいいか。どうしたらいいか 気持ちよくにできるか。涙の意味を考えた だましている子が
何を考えられているか 模索して……

子ども達から作られた びびの 楽しい豊かな、ほろい一日一日……一緒にいる事
の中で 知恵大人が抱える育ちた方への思い。保育という仕事は瞬間的に自分自身を
さらけ出すこともあり。時には隠してきたい自分自身と 心と向き合っている時が
あります。自分の弱ささらけ出すと 落ちこぼれたい気持ちがあります。その何倍も何十
倍も 嬉しい豊かなことの多い仕事です。私に子ども達の 抱きかかると受け入れようとして
いる時の中で 一つの私に自分自身の抱きかかると受け入れられるように思っています。

今、びびの子ども達は 伸びやかに自分自身を現れたいと思ふ。自分自身でいいと思ふ。
友達の手と手を握りあわせ 言葉。平和な日々を 作り出しています。保育という仕事について
ふかふかと心から思っています。毎年 ーの 出会う子ども達に「あーかー!!」です。

子ども達の 2012年度冬の 小まめに 豊かな物語。エピソードを 記してお。一つひとつ
の場面を想像し 28人一人ひとりの成長を感じ 一緒に喜んで下さる方々嬉しいです。
皆様に 今年度も ねんね ーの ありかー!! です。卒園生4人は びびの中で 培った
力が 活かされていけるように。退園する 結月ちゃん 場合は 草子も どんちゃん さんと
一緒に 育つていこうね。健太ちゃん 麗奈ちゃん 瑚晴ちゃん 大志ちゃん 結月ちゃん。
「おはよう〜」と 遊びに来るね。乗っかかると 待つていこう。 真弓

エピソードを名前を略して記してお。

①が どんちゃんを 探して 歩いたら 日の光が ずっと 射して モミジの 苗木 についた 水滴が キラ
キラと 美しく 光り ②「わあー 歩いて きれい! 太陽が ずっと 光らせて くれたわ!!」と 大感激。
そして どんちゃんの 帽子を 奪って ③④も やって どんちゃんの 帽子を 奪って 枝に つかまえて
そっと その 帽子に 奪われ 始めました。水の妖精達は 水を 一瞬間 ずっと……

テラスの 所々 前日からの 松ぼっくりを 並べた ケーキを ⑤が きれいに 作り直し。⑥「この 間 ずっと
ごめんね びび パティエ して ずっと 大変な 仕事ね。一番 早く 帰ると ケーキ パティエ して いう えんぴつ
に なるだけ だよ……」という 説明を 聞いて ⑦⑧「わあ この びびの パティエ の ほうち っていう こと
は 何?」⑨「あー ケーキ 作る こと だよ」⑩「あー びび さん!」 華やか 木の家を 使っている
ころ ケーキ を 作っている。⑪と ⑫が 相談して 段ボールに 書いた 看板には 「木の けいさや
かきいご びびん。11時 まで こう びびん さん だぞ ねんね びびん」の 文字。アキアキ や ねんね や ケーキ
美味い びびん さん さん。

二股に 分かれた 少し 大きな 板を 持っています。⑬。ピエール が 二つ、つなげられている 形 びびん さん
朝から 板を 持っていて 板のある 部分から 折れそうに 思っている ⑭が 気付く。⑮「行人
に 折れそう だよ」⑯「折れたら 二つに なるから 一緒に 使おうね」 折れたら 嫌だね 思ったら
一緒に 使おうと…… 「わんわん と ぶるる」 だよ。

びびの日。みんな 年末の大掃除。⑰⑱⑲ は 11時 まで 遊んでいる 自分一人 丸太の
人力車(?)の 泥落し。水が 冷たいのに 何度も 洗って ストレンジな 水が 濡らし きれいに している。
デッキの 拭き掃除を してから ⑳「11時 まで 遊んだね」㉑「きれいに 拭いて 気持ち がいい
だね」㉒「次に 使う 人にも 大切に 使って ほしいね」

㉓ 小まめに 赤い木の 木を見つけた 「わんわん…… 水が 濡れちゃったね…… きれいに 拭いて!!」

本日お昼様に和寝した子ども達一人ひとりのカードは、5人のスタッフが何度も話し合い確認しながら文章化していきまし。手分けして書いていすか”5人の思い”がつわていす。この一年の卒をふり返り、お友の事を命から命う機会があたら嬉しい。

入園の集いのご案内

新しくひびの仲間にお友お友さんと共に 親子一緒に集い一日を過ごしたいと思ひます。

日時 4月10日(水) 登園 9時~9時15分
降園 12時半頃

持ちもの いつもの着かえおび。 水筒に温かいお茶
親子分の和皿、お椀、お箸かフォーク・スプーン

モバイル製品 お申し込みについて

4月 早々に カタログを ご覧いただけます。
お申し込み受付は、4月に お知らせいたします。



ひびの森の木の实たち(クリ)

春先の森をよくみると、樹上に一人一人座れるくらいの葉のゆな枯れ枝のかたまりをみつけることがあります。これは”クマ糞”といひ。クマがクリ、ドングリ、サクラなどの木の实を木の上で食べたあとです。枝ごと木の实をもぎとり、食べたあとの枝をお尻の下に繋いでいくので、葉があるうちは気づきませんが冬〜今頃、こんな所に!と驚きます。秋にしっかりクリなどを1本に蓄え、冬の間いっさい何も食べず、メスグマは冬ごりの穴でなんと子グマ2頭を出産し、育てます。

今年も元気にクマたちは、冬を越せたのでしょうか。かわい子グマたちが、春の森にでてくるのは、もう少し先です。お近くの”クマ糞”探してみてもいいね。 : 葉の恵